

# 議会だより ふたば

第155号  
令和8年6月

発行：双葉郡双葉町議会  
編集：双葉町議会報編集委員会  
〒979-1495  
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4  
☎ (0240) 33-0309



## 主な内容

- 令和8年第1回定例会
  - ・このようなことが決まりました…………… P 2～3
  - ・委員長報告・質疑・採決状況…………… P 4～5
  - ・一般質問…………… P 6～9
- 令和8年第2回臨時会・議会全員協議会…………… P10
- 議会のうごき…………… P11～12



# が決められました

## 令和8年度一般会計当初予算

総額375億円

前年度より212億6千万円 ↑ UP

令和8年第1回議会定例会は、3月10日から18日までの9日間の日程で開かれました。  
専決処分の承認、条例の制定・全部改正・一部改正、契約の締結・一部変更、町道路線の廃止・認定、土地の売払い、令和7年度補正予算、令和8年度当初予算、副町長の選任などが提出され、いずれも原案のとおり可決されました。  
内容は次のとおりです。

会 計	予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計	375億円	212億6千万円 ↑
特 別 会 計	国民健康保険	13億247万3千円 ↑
	公有林整備事業	77万2千円 ↓
	介護保険	9億9,203万5千円 ↓
	後期高齢者医療	1億1,722万円 ↑
下水道事業会計	12億5,068万9千円	3億1,572万7千円 ↑

※詳しい内容は広報ふたば5月号をご覧ください。

### 契約の締結

- 目的 既存ストック施設 (旧東邦銀行双葉支店) 改修工事
- 方法 指名競争入札
- 金額 356,400,000円
- 相手方 双葉町大字中野字高田1番地1 双葉町産業交流センター内 404号 日興建設株式会社 福島支店 支店長 杉本 明

- 目的 下水道管路復旧工事(下長塚地区開削)
- 方法 指名競争入札
- 金額 145,750,000円
- 相手方 双葉町大字中野字堂ノ前1番地 勝山工業株式会社 代表取締役 勝山 広幸

### 令和7年度 一般会計補正予算

事業費の確定等により多くの会計、科目で減額補正となりました。  
6億5,729万6千円減  
(総額217億2,682万円)

### 人事

双葉町副町長の選任 (再任)  
(任期:令和8年4月1日~令和12年3月31日)  
・平岩 邦弘 氏

### 土地の売払い

- 目的 双葉町駅西地区西エリア宅地利活用事業に係る土地の売払いのため
- 土地の所在 双葉町大字長塚字蛭子堂1番9外5筆
- 土地の面積 8,761.08㎡
- 売払金額 136,550,000円
- 相手先 東京都千代田区飯田橋 三丁目13番1号 大和ハウス工業株式会社 支配人 片岡 幸和

第1回  
定例会  
3月10日～18日

# このようなこと

## 契約の変更

●契約名  
双葉駅西地区住宅団地等整備  
事業業務委託契約

●契約金額  
変更前  
15,540,025,000円  
変更後  
21,170,000,000円

●契約名  
双葉駅西側第一地区下水道施設  
整備事業業務委託契約

●契約金額  
変更前  
268,700,000円  
変更後  
176,112,995円

●契約名  
養液栽培施設敷地造成工事  
請負契約

●契約金額  
変更前  
198,000,000円  
変更後  
210,898,600円

## 条例の制定・全部改正・一部改正

- 令和8年度東日本大震災等による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定  
東日本大震災及び原子力災害により被災した納税義務者の税負担等の軽減を図るため制定。
- 双葉町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定  
こども誰でも通園制度の創設に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるため制定。
- 双葉町文化財保護審議会条例の制定  
文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を行う審議会を設置するため制定。
- 双葉町文化財保護条例の全部改正  
双葉町文化財保護審議会を設置することに伴い改正。
- 双葉町公告式条例の一部改正  
アナログ規制の見直しに関する地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、公示事項を町ホームページで閲覧できるようにするため改正。
- 双葉町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正  
個人番号を利用する事務を追加するため改正。
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
近年の監査業務の高度化・専門化などを踏まえ、監査委員の職責及び業務実態などを考慮し報酬額等を改正。
- 職員の給与に関する条例の一部改正  
国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告を踏まえ、通勤手当の支給限度額等を改正。
- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正  
災害応急作業に従事する職員の手当の範囲について改正。
- 双葉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
児童福祉法等の一部を改正する法律及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令に伴い、家庭的保育者を行う者に関する要件等の一部を改正。
- 双葉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正  
児童福祉法の改正に伴い、文言等の整理を行うため改正。
- 双葉町火入れに関する条例の一部改正  
双葉地方広域市町村圏組合火災予防条例の一部改正に伴い、文言等の整理を行うため改正。

### 総務教育常任委員会委員長報告

- 【事 件 名】町の広報・広聴の現状について
- 【出席委員】山根辰洋委員長、渡部昭洋副委員長、伊藤哲雄委員、岩本久人委員
- 【委員会開催日】令和 7 年 12 月 10 日、令和 8 年 1 月 22 日、3 月 3 日
- 【調査の内容】広報業務と広聴業務について、現状や課題、今度の取組方針などのヒアリングを実施
- 【調査を受けての委員会提案】
  - ① 広報・広聴の中期戦略の策定
  - ② 媒体の役割と効果の明確化
  - ③ 「ふたばアプリ」の機能強化
  - ④ 行動につながる情報発信への転換
  - ⑤ 双方向型広聴の強化
  - ⑥ 実施体制とマネジメントの強化

### 町道路線の廃止

双葉運動公園の整備に伴い関係する道路を整理するため、道路法第 10 条第 1 項の規定に基づき廃止するもの

路線番号	路線名	起点	備考：総延長
		終点	
336	谷沢町・羽山前線	大字長塚字谷沢町 215 番 1 地先 から	1,579.9m
		大字中野字羽山前 66 番 1 地先 まで	

### 町道路線の認定

双葉運動公園及び双葉駅西側地区の整備に伴い関係する道路を整理するため、道路法第 8 条第 1 項の規定に基づき認定するもの

路線番号	路線名	起点	備考：総延長
		終点	
336	谷沢町・堂ノ前線	大字長塚字谷沢町 215 番 1 地先 から	1,070.0m
		大字中野字堂ノ前 1 番地先 まで	
537	駅西 4 号線	大字長塚字深谷 4 番 4 地先 から	103.1m
		大字長塚字深谷 11 番 2 地先 まで	
538	東館・深谷線	大字新山字東館 233 番 2 地先 から	126.9m
		大字長塚字深谷 247 番 2 地先 まで	
539	深谷線	大字長塚字深谷 48 番 1 地先 から	310.0m
		大字長塚字深谷 59 番 2 地先	

#### 質 疑 内 容

令和 8 年第 1 回議会定例会に提出された議案の審議において、主な質疑内容と討論は次のとおりです。

#### 令和 8 年度双葉町一般会計予算

##### 〈総務費〉

##### 【問】山根辰洋

新規関係人口創出情報発信業務委託料について、町の出資会社がプロポーザルに参加することは公平性の観点から問題ないのか、ま

##### 【説明】復興推進課長

公平性の観点から問題は無いとの認識である。受託事業者の情報発信については適切になされるよう要綱を検討する際にしっかりと対応していきたい。

#### 質 疑 内 容

#### 令和 8 年度双葉町一般会計予算

##### 〈総務費〉

##### 【問】菅野博紀

新成人チャレンジ事業とはたちを祝う会が

##### 【説明】菅野博紀

同時に開催される理由を伺う。野馬追事業について、町民の野馬追人口が減っているため、町立学校の子どもたちに体験させるなどの機会を与えてはどうか。

##### 【問】高萩文孝

4 年前から友好盟約の締結のために行っているが、また覚書の取り交わしまでにとどまっている。他市町村の先例から 10 年を 1 つの日安として考えている。

##### 【答】町長

ワクチン接種について、町の感染症対策のトップである町長は、学びの姿勢を町民の見本としてお示すべきではないのか。

##### 〈衛生費〉

##### 【問】高萩文孝

ワクチン接種について、国の制度に基づき医師が問診や診療を行うとともに、予診票で本人の意思を確認して行っているものである。

##### 【答】町長

高萩文孝・町長の答弁に一貫性がないと感じたので、ワクチンの予算上に反対である。

#### 討 論

#### 反 対

高萩文孝・町長の答弁に一貫性がないと感じたので、ワクチンの予算上に反対である。

#### 賛 成

菅野博紀・学校教育等の予算がストップしてしまうと町の復興が後戻りしてしまうので、賛成である。

# 3月定例会の採決状況

件名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決結果	渡部昭洋	山根辰洋	小川貴永	伊藤哲雄	作本信一	菅野博紀	高萩文孝	岩本久人
専決処分の承認について 専決第1号 令和7年度双葉町一般会計補正予算(第5号)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	—
令和8年度東日本大震災等による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町文化財保護審議会条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町文化財保護条例の全部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町公告式条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町火入れに関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
既存ストック施設(旧東邦銀行双葉支店)改修工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
下水道管路復旧工事(下長塚地区開削)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉駅西地区住宅団地等整備事業業務委託契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉駅西側第一地区下水道施設整備事業業務委託契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
養液栽培施設敷地造成工事請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
土地の売払いについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和8年度双葉町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	—
令和8年度双葉町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和8年度双葉町公有林整備事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和8年度双葉町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和8年度双葉町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和8年度双葉町下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	—

# 町政に切り込む!

## 一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をたずねるものです。

ここでは3月定例会に行われた一般質問の中で、特に注目したい質問を取り上げます。



### 【山根 辰洋 議員】

1. 特定帰還居住区域の下水道事業について
2. 少額で多様な補助金制度の創設について



### 【高萩 文孝 議員】

1. 双葉町のワクチン接種事業について
2. 特定帰還居住区域の避難指示解除に向けた進捗について
3. 復興まちづくり計画（第三次）について
4. 双葉町こども計画について



### 【菅野 博紀 議員】

1. 原子力損害賠償について
2. 福島第一原子力発電所の廃炉作業について





山根 辰洋 議員

●特定帰還居住区域の下水道事業について

質問

帰還困難区域の避難指示解除要件には生活インフラの整備が含まれるという認識であるが、現在整備が進む特定帰還居住区域においても旧特定復興再生拠点区域同様、下水道復旧は前提となるのか。また、現在の稼働状況や不水対策の課題を踏まえると、全面復旧は将来的な維持管理コストの増大につながる懸念がある。人口規模や費用を見据え、事業区域の見直しを検討すべきと考えるが、町の見解を伺う。

町長答弁

生活インフラは電気・ガス・上下水道・交通・通信等とされ、下水については適切な排水設備の整備が要件と認識している。このため諸条件を踏

まえ下水道復旧を進めている。区域見直しについては、浄化槽へ切替えた場合、既存管の撤去義務が生じ費用も同程度と見込まれる。加えて、国庫補助や交付税措置、浄化槽コスト、事業者の有無、地価への影響や住民感情、利便性等を総合的に勘案し、下水道復旧の方針としている。

再質問

国交省の試算では下水道事業は一定の人口密度を要する。人口集約が進めば成立の可能性はあるものの、現状では見通しは不透明である。また、震災前の都市計画は前提が大きく変化しており、インフラ整備の過程で、効率的なダウンサイジングを検討すべきと考

町長答弁

生活環境整備を前提に、人口増にも取り組む必要がある。震災前は県内でも高い普及率であった。密集地のみ下水道とする案も検討したが、切替えには既存管の撤去費用が伴い、総合的に下水道継続が町の負担は小さいと判断した。また、浄化槽は設置費に加え年約7万円の維持費が個人負担となるため、下水道の方が負担の平準化が図られる。現時点では費用対効果から維持方針としている。

再々質問

避難指示解除まで15年を要し、段階的に見直す機会が失われた点は震災の影響であり、国との協議で一定の配慮が求めら

町長答弁

現方針は国の判断に基づくものであり、受益者負担の公平性を損なわないことが前提である。一方で、人口推移は不透明であり、将来負担を抑える持続可能な在り方は重要な課題と認識している。現時点で具体的な国との協議は行っていないが、制度の柔軟な運用も含め、協議の可能性について検討していく。

<山根議員のその他の質問（概要）>

●少額で多様な補助金制度の創設について

質問：他自治体ではコミュニティ補助やチャレンジ補助、同窓会補助などが担い手創出や関係人口の拡大に寄与している。一方、本町は既存制度中心で、新たな活動主体に十分対応できていないのではないかと考えるがいかがか。

町長答弁：他自治体の取組は認識しており、コミュニティ形成や人材育成に有効と考える。一方で、単発イベント化や申請件数の低迷といった課題もあり、制度創設は慎重に検討する必要がある。当面はコワーキング等の拠点整備や既存事業との連携を重視する。

再質問：同窓会補助は帰還や来訪の契機として有効であり、キーマンの把握やコミュニティ窓口の整備が重要である。また、復興支援員制度の活用変化、支援の在り方や体制、拠点活用の具体像について伺う。

町長答弁：少額補助制度は必要性を踏まえ引き続き検討する。コワーキング等を拠点に人や情報をつなぐ機能を整備し、コミュニティ支援の在り方についても今後検討を進める。

答

問

現時点では費用対効果から維持方針としている

町内の下水道事業について人口規模等を見据え、事業区域の見直しをするべきではないか



動画でも視聴可能です。

産業拠点の整備や企業立地の進展、住宅整備や商業施設の開業などにより生活環境が向上し、復興は着実に前進していると考えられる。一方で、帰還困難区域の避難指示解除、住宅不足、医療・介

**町長答弁**

復興まちづくり計画(第三次)について  
復興まちづくり計画(第三次)の4年間の総括について町長の評価を問うとともに、5つの分野の基本施策について現状課題と残り1年の対応方針を伺う。併せて教育長に教育分野の評価と今後の対応、課題認識について伺う。

**質問**

●復興まちづくり計画(第三次)について



高萩 文孝 議員

**答**

**問**

復興まちづくり計画(第三次)の評価と課題について伺う  
復興は着実に前進しているが、町内全域の避難指示解除、住宅不足、医療福祉体制の強化、農業の再生など課題は山積している

護人材の確保、農業再生などが課題とし、残り1年は住宅支援や産業基盤の拡充、医療福祉体制の強化、教育施設整備、交流拠点の整備などを進める。

**再質問**

清戸迫古墳の保存・活用については後世に残す重要課題であり、学校再開と並行してスピード感ある対応が必要と考え

**教育長答弁**

教育施設整備や生涯学習、文化活動の充実により前進していると考えられる。今後は学校再開に向けた環境整備や児童生徒のケア、子育て支援、文化財の保存と担い手確保に取り組む。

**教育長答弁**

清戸迫横穴墓群は拡大指定に向け保存活用計画を策定中で、新たな発見も踏まえ調査を進めている。令和8年度予算にも計上し、文化庁と連携しながらスピード感を持って取り組む。



**<高萩議員のその他の質問(概要)>**

●双葉町のワクチン接種事業について

質問：ワクチン被害の町内実態と勉強会参加の意思と時期を伺う。  
町長答弁：町把握の被害申出は1件、国は安全性に重大な懸念なしと評価している。勉強会への参加可否の回答は控える。  
再質問：勉強会へ不参加で町民の命を守れるのか。  
町長答弁：安全性は国が評価しており、接種は個人の判断。被害は国が対応すると認識している。  
再々質問：勉強会に出席できない理由を伺う。  
町長答弁：国事業であり判断は国が担うと考え、参加可否は回答を控える。

●特定帰還居住区域の避難指示解除に向けた進捗について

質問：残期間4年を踏まえた帰還促進の進め方を伺う。  
町長答弁：除染や解体、インフラ復旧を関係機関との連携で加速し、解除と帰還実現を目指す。  
再質問：除染等の具体的な加速策と国との協議方針を伺う。  
町長答弁：解除の実現を図るとともに国へ具体的な時期の明示を要望する。

●双葉町子ども計画について

質問：子ども計画1年目の評価と課題、今後の対応を伺う。  
町長答弁：支援体制の整備は進展したが、家庭環境の変化に伴う支援ニーズ増加が課題。  
教育長答弁：町内での交流活動を充実させた。子育てや教育の相談体制の強化が課題。  
再質問：子ども最優先の育成方針を伺う。  
町長答弁：子どもの可能性を伸ばす経験・交流機会の充実を図る。  
教育長答弁：子ども中心の学校づくりと教育人材の確保に取り組む。



動画でも視聴可能です。



菅野 博紀 議員

●原子力損害賠償について

質問

原子力損害賠償紛争審査会の対応がないのであれば、責任は文部科学省にあると思うが、文部科学省に対する要望等は考えているのか伺う。

町長答弁

前回、議員からご提案をいただいた際に文部科学大臣への要望も視野に機会をとらえて要望を継続すると回答したが、3月の文部科学大臣の町内視察の際には、双葉町は被災12市町村で最も遅く帰還をはたした自治体であること、いまだ多くの町民が避難先で生活している実情を考慮し、適切

な賠償となるよう直接申し上げている。

また、原発事故から15年が経過し、いまだ故郷に帰還できない多くの町民の皆さまのご労苦、そして双葉町に帰ることを信じて志半ばでお亡くなりになった方々のご無念を心に刻み、原子力損害賠償紛争審査会はもとより、文部科学省への要望も機会をとらえて実施していく。

再質問

損害賠償に関しては、原子力損害賠償紛争審査会には要望を受け入れてくれない。農業にしても商工業にしても十分な賠償はなされず、当事者の東京電力でさえ、人のせいにしてている。東京電力の

町長答弁

東京電力の町への協力が足りていないのではないかとの指摘であるが、協力が足りているものと足りていないものがある。東京電力の原田にある独身寮の入居者は町の人口増に貢献しているし、復興本社の町産業交流センターへの常駐、社員ボランティアなど社員

の方で町に貢献してくれている方が大勢いる。一方で、原子力損害賠償については要求書を手交しても、町が思うような回答は得られていないのも事実である。今月、文部科学大臣の町内視察の際にはしっかりと大臣にお願いをした。今後は、担当課と文部科学省の担当の方で交渉をして、少しでも町民の皆さんが納得できる賠償の取組を進めたい。また、今後ともことあるごとに文部科学省に足を運んで、原子力損害賠償を中心に、いろいろ要望していきたいと考えている。

問

原子力損害賠償について文部科学省に直接要望する考えがあるか伺う

答

町内視察の際に大臣に直接お願いしているが、今後も町と文部科学省の担当で交渉し賠償の取組を進めたい

<菅野議員のその他の質問（概要）>

●福島第一原子力発電所の廃炉作業について

質問：福島第一原子力発電所を議会で視察した際に廃炉作業の終了時期について質問したが納得できる返答はなく、いまだ明確な廃炉時期が示されないことについて町はどのように考えているのか伺う。

町長答弁：施設等の老朽化や整備不良に起因する事故などにより廃炉作業が停滞することはあってはならないと強く指摘する一方、安全を最優先に廃炉作業を貫徹するよう求めていく考えである。

再質問：当町は処理水の放出など協力しているのに、廃炉も地元の工事業者にはほとんどまわってこない。処理水に関して税金の質問をしても誠意のない回答であった。もうすでに15年も経過しているのだから、進捗状況についてももう少し具体的に示す時期にきていると思うが、どうお考えか。

町長答弁：処理水に関しても、廃炉に関することは町としてできるだけ協力したいと思いやってきた。実態に即した原子力損害賠償と、安心安全な廃炉を確実に行っていただきたい。

再々質問：町は誠意のある対応をしているのだから、損害賠償について文科省に要望していただきたい。

町長答弁：これまでの議会との連携した取組を忘れることなく、今後とも取り組んでいきたい。



動画でも視聴可能です。

# 令和 8 年第 2 回 議会 臨時会 4 月 21 日

## 条例等の改正

● **双葉町税条例の一部改正**

地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、町税の課税事務において所要の整備を行うため改正。

● **双葉町国民健康保険税条例の一部改正**

地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税の課税事務において所要の整備を行うため改正。

## 契約の締結

目 的 下水道管路復旧工事(下長塚地区推進)  
 方 法 指名競争入札  
 金 額 81,400,000円  
 相 手 方 双葉町大字長塚字町48番地  
 田中建設株式会社  
 代表取締役社長 木下 弘行

件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決結果	渡部 昭洋	山根 辰洋	小川 貴永	伊藤 哲雄	作本 信一	菅野 博紀	高萩 文孝	岩本 久人
専決処分の承認について 専決第 2 号 双葉町税条例の一部改正について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	—
専決処分の承認について 専決第 3 号 双葉町国民健康保険税条例の一部改正について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	—
下水道管路復旧工事(下長塚地区推進)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

## 全員協議会

3月18日

- 双葉町行政組織規則の改正について【総務課】
- 中間貯蔵施設事業の状況等について【環境省】



議会の定例会は年 4 回  
(3月、6月、9月、12月)  
開催されます。

傍聴もできますのでお気軽にお越しください。  
6月定例会の日程は、ホームページでお知らせいたします。

【お問い合わせ先】  
議会事務局 ☎0240-33-0309



# いわき市議会（会派：政風会）行政視察

3月25日、いわき市議会（会派：政風会）の行政視察が行われました。

### 【説明事項】

- ・双葉町の現状について



## 議会のうごき（3月～5月）写真版



3月10日  
令和8年第1回議会定例会（開会前の黙とう）



3月11日  
東日本大震災慰霊碑除幕式



3月14日  
双葉駅東地区商業施設飲食店オープニングセレモニー



4月6日  
双葉中学校入学式



4月6日  
行幸啓



4月18日  
加須市 騎西藤まつり

議会のうごき

3月

- 1日 県立ふたば未来学園中学校・高等学校卒業証書授与式
- 松本洋平文部科学大臣町内視察
- 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 総務教育常任委員会
- 4日 酒井庸行国土交通副大臣町内視察
- 10日～18日 令和8年第1回議会定例会
- 総務教育常任委員会
- 産業厚生常任委員会
- 議会全員協議会
- 議会運営委員会
- 11日 東日本大震災慰霊碑除幕式
- 13日 町立双葉中学校卒業証書授与式
- 14日 双葉駅東地区商業施設飲食店オープンングセレモニー
- 23日 町立双葉南・北小学校卒業証書授与式
- 町立ふたば幼稚園修了証書授与式
- 復興町民委員会
- 25日 いわき市議会（会派・政風会）町内視察
- 29日 赤澤亮正経済産業大臣町内視察
- 4月
- 6日 町立双葉中学校入学式
- 福島県行幸啓
- 7日 双葉町相馬流れ山踊り保存会総会
- 双葉町女性会総会

5月

- 8日 県立ふたば未来学園中学校・高等学校入学式
- 10日 議会全員協議会
- 11日 ふたば桜まつり
- 12日 福島県消防協会双葉支部春季連合検閲式
- 15日 小林茂樹文部科学副大臣町内視察
- 18日 加須市騎西藤まつり
- 21日 議会運営委員会
- 令和8年第2回議会臨時会
- 22日 相馬妙見宮初發神社春の例祭
- 24日 双葉町芸術文化団体連絡協議会総会
- 3日 加須市民平和祭
- 9日 公明党東日本大震災復興加速化本部町内視察
- 標葉郷騎馬会供奉証肩証交付・出陣式
- 14日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会
- 18日 FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA 開業記念式典
- 19日 双葉町商工会総会
- 20日 帰還困難区域を抱える町村の協議会要望活動
- 23日 標葉郷野馬追祭出陣式
- 24日 双葉町騎馬会町内凱旋行列
- 26日 全国町村議会議長・副議長研修会
- 29日 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会
- 30日 双葉地方土地開発公社理事会
- 双葉町商工会館開所式

編集後記

新緑がまぶしい初夏を迎え、町内では人の動きや日々の営みが少しずつ感じられるようになりました。復興の歩みも着実に進んでおり、5月には福島県復興祈念公園が町内にオープンし、新たな交流の場として期待されております。

3月定例会では、新年度予算や各種施策が審議され、今後の町づくりに向けた方向性が示されました。

これから梅雨の時期を迎えます。体調を崩しやすい季節でもありますので、どうぞご自愛のうえお過ごしください。

今後とも「議会だよりふたば」をよろしく願っています。

(渡部)

【編集委員会】

- 委員長 渡部 昭洋
- 副委員長 小川 貴永
- 委員 作本 信一
- 委員 山根 辰洋



双葉町議会事務局  
 電話:0240-33-0309  
 FAX:0240-33-0310  
 メールアドレス:  
 gikai@town.futaba.fukushima.jp